

第6回「日・ASEAN 情報セキュリティ政策会議」 サマリーレコード概要

- 第6回「日・ASEAN 情報セキュリティ政策会議」を2013年10月9日及び10日に開催した。
- 会議冒頭、モンテホ科学技術大臣から、情報セキュリティ分野における日・ASEAN 連携への謝意と将来に向けた取組の具体化を歓迎する旨が示された。会議では、明治大学総合社会研究所林所長とフィリピン科学技術省カサンプレ情報通信技術局長が議長を務めた。両議長は、深刻化するサイバー脅威への対策強化と日 ASEAN の連携した取組が重要であることを強調した。
- 9月に東京で開催された「日・ASEAN サイバーセキュリティ協力に関する閣僚政策会議」について、技術協力（JASPER）や人材育成（日・ASEAN サイバーセキュリティ人材育成イニシアティブ）等に関する取組方針やロードマップが示され、日 ASEAN の連携を密にして閣僚政策会議のフォローアップを推進していくことについて合意した。
- 意識啓発について、共同ポスターや教材の作成等、昨年より毎年10月に実施している共同の取組に高い評価がなされるとともに、限られた資源を有効活用しつつ、翌年も継続して実施することについて合意した。また、日・ASEAN 各国の参加を得て本年実施されたサイバー連絡演習について、演習の有用性について認識を共有し、協力・連携を発展させて来年も継続することについて合意するとともに、平素からの情報セキュリティに関する情報共有についても一層の連携強化を図ることとした。
- サイバーセキュリティに関する特定のテーマについて、関心を有する国の政府機関等が参加し、課題の洗い出し及び協力の方向性等について議論するため「専門家パネル」を設置し、開催することで合意した。
- 今後の日・ASEAN 間の協力について、インドネシア、マレーシア及び日本から発表があり、インドネシアからは本年から開始される新しいキャパシティビルディングに関するプロジェクトについて、マレーシアからはサイバーセキュリティ政策や人材育成、意識啓発等における日・ASEAN 連携の重要性について説明が行われた。日本からは、今月策定した「サイバーセキュリティ国際連携取組方針」についての説明を行うとともに、標的型メール攻撃に関する政府職員向け研修や CSIRT 構築・運用に係るノウハウやツールキットの提供といった新たな CSIRT 間連携活動の推進、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）や制御システムセキュリティに関する研修の実施、スパムメール対策、専門家交流プログラム、インターネットユーザ向けの新たなインシデント対応のための研究開発プロジェクト等の協力に

ついて紹介が行われ、引き続き、日 ASEAN 間の協力を進めていくことで共通認識が得られた。また、近年注目の集まるクラウドセキュリティに関する意見交換において、日本から、「クラウドサービス利用のための情報セキュリティマネジメントガイドライン」に関する国際標準化動向等についての説明を行い、今後とも情報共有を行っていくことで一致した。

- 2013年11月の日・ASEAN 情報通信高級実務者会合に本政策会議の成果を報告することに合意した。
- 次回は、2014年10月に日本で、第7回「日・ASEAN 情報セキュリティ政策会議」を開催することとなった。
- 会議の開催に尽力したフィリピン政府及び日本政府に対して謝意が表明された。